

梅雨の季節がやってきた (Tsuyu is here)

「梅雨」は日本ならではの物であって、僕の母国ニュージーランドにはこうした雨季というものはありません。梅雨に文句を言いたい人は日本にたくさんいます。初めて体験する、僕たちのような外国人なんかは特に。でも結局、この特別な時期を黙って受け入れることにしました……だってこれって、僕の都合で変えることができないものだから。

みなさんご存知のとおり、この時期には厄介なことがいろいろと起こります。例えば家の中のありとあらゆるものがジメジメしますし、生えてくるカビと毎日格闘する破目にもなります。そろそろと這ってくるムカデがないか、ずっと神経質になっている自分がいます。それにこの時期は、長時間のサイクリングにもしばしのお別れをしないとイケません。

とまあ、梅雨につきもののこうしたことが多少ありはしますが、僕はそれなりに、この時期の生活を気に入り始めています。長雨となるとたいてい、家の中でずっと過ごさなければいけなくなるわけですが、これはこれで悪くはありません。パンを焼いたり、本を読んだり、家事を片づけたりとたくさんことができますから。台所でパンを焼くと特にありがたいのは、オーブンの乾いた熱気のおかげで、家の中の湿気を吹きとばすことができる点です。パンを焼けば焼くほど、ジメジメ感から解放されるという寸法です！

僕はもう、梅雨のことでクヨクヨしたりしません。自作の「照る照る坊主」をぶら下げなくてすむのだって、もうすぐです。天気みたいに、生きていく中で思う通りにならないことはたくさんあります。ですからそれを受け入れて、できる範囲でできることをやっていくのがいいんじゃないか、と僕は今思っているところなのです。



ご機嫌うるわしい、僕の照る照る坊主です。
梅雨を乗り切る力をどうか僕にわけてください！

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)